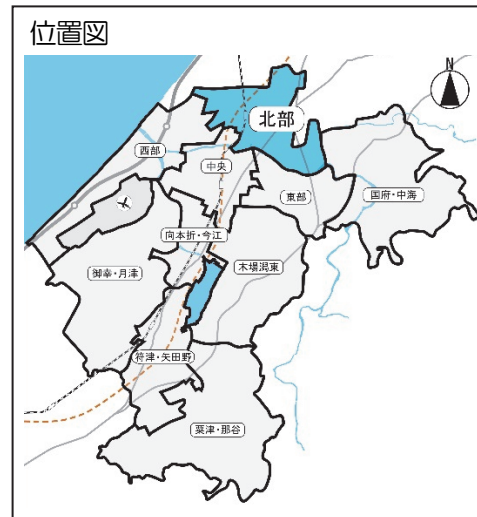


2 北部地域（犬丸・荒屋・能美）

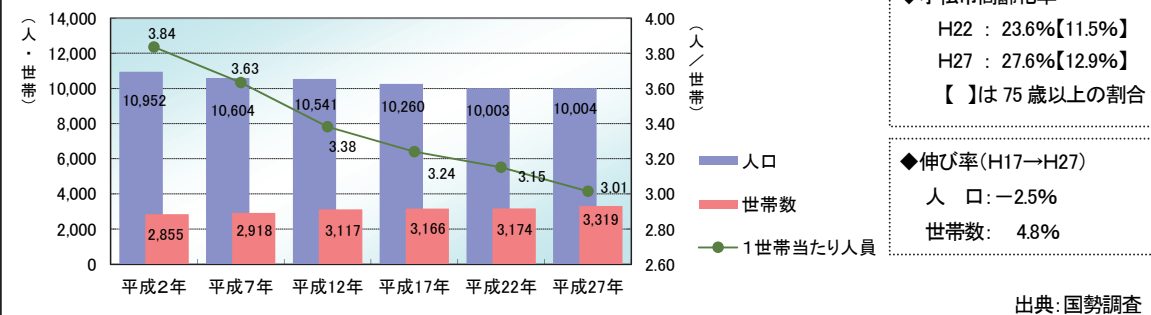
1. 地域の現況

- ・本地域は、犬丸、荒屋、能美の3校下で形成され、本市の北端に位置し、能美市と隣接している。
- ・地域のほぼ中央を国道8号（小松バイパス）、国道305号が通過しているほか、地域西側にはJR北陸本線が走り、JR明峰駅が立地する。また、（都）小松インター八里線が東西方向に走っており、交通の利便性に恵まれている。
- ・地域内の約9割は市街化調整区域となっており、市街化区域は住居系と工業系の用途が占めている。
- ・平成27年現在の人口は10,004人で近年は横ばいに推移しているが、世帯数は3,319世帯で、緩やかに増加している。

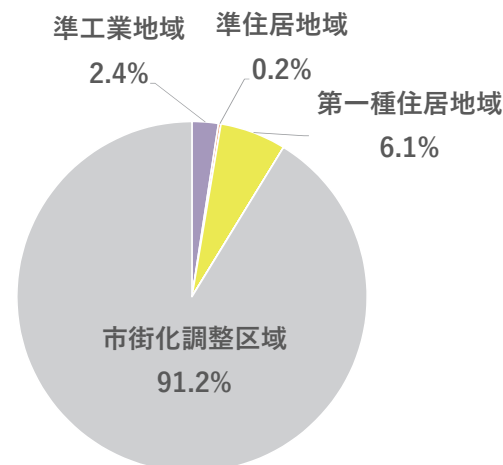


●基礎データ		都市計画区域内に占める割合	都市計画区域内の平均	備考
面積 (ha)	978	7.9%		都市計画基礎調査値
人口 (人)	10,004	9.8%		H27国勢調査値
世帯数 (世帯)	3,319	9.1%		"
人口密度 (人/ha)	10.23		11.10	
平均世帯員数 (人/世帯)	3.01		2.79	
高齢化率 (%)	24.7 【11.6】		23.0 【11.0】	H22国勢調査値
【 】は75歳以上の割合 (%)	29.4 【13.3】		27.0 【12.4】	H27国勢調査値

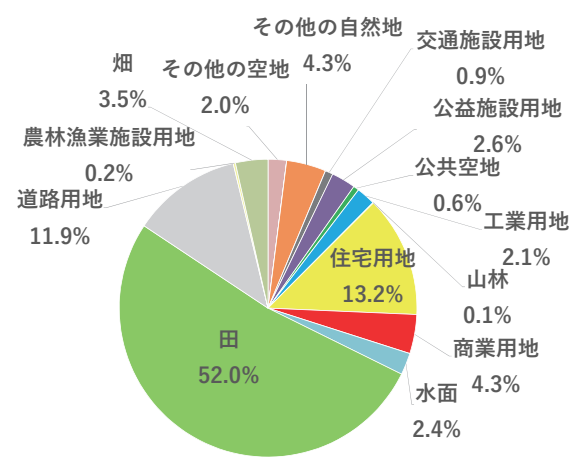
●人口・世帯数の推移



●区域区分・用途地域

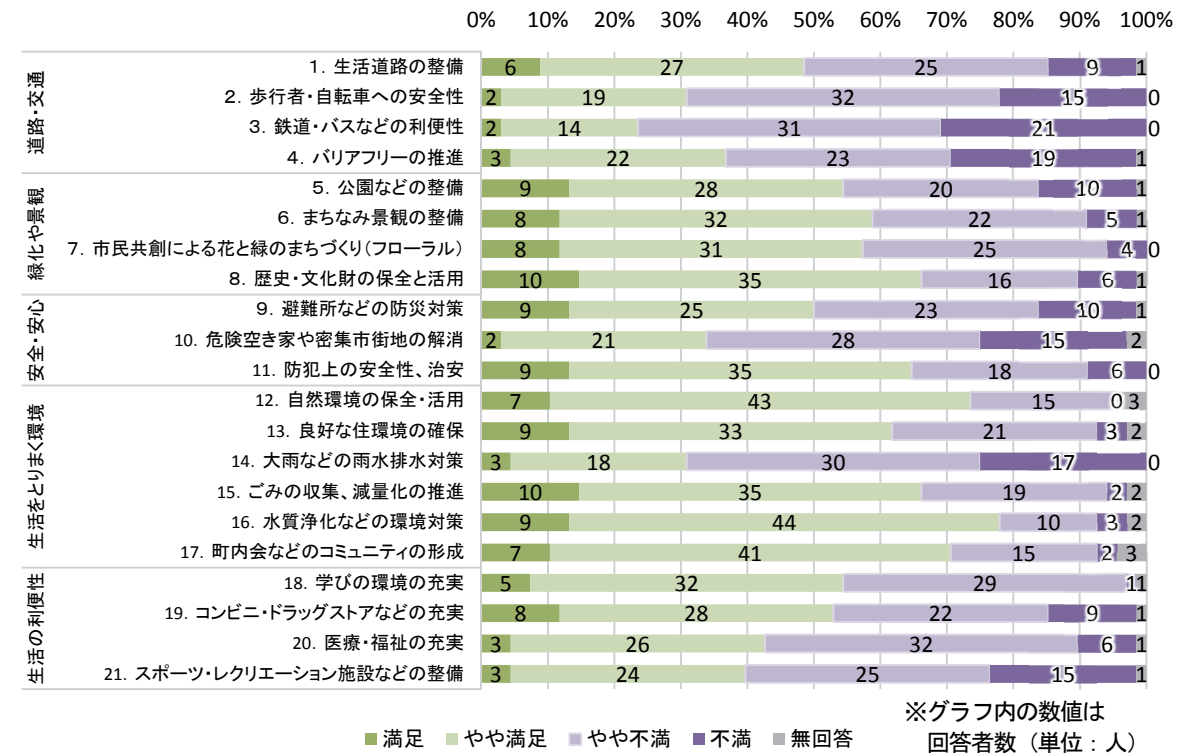


●土地利用

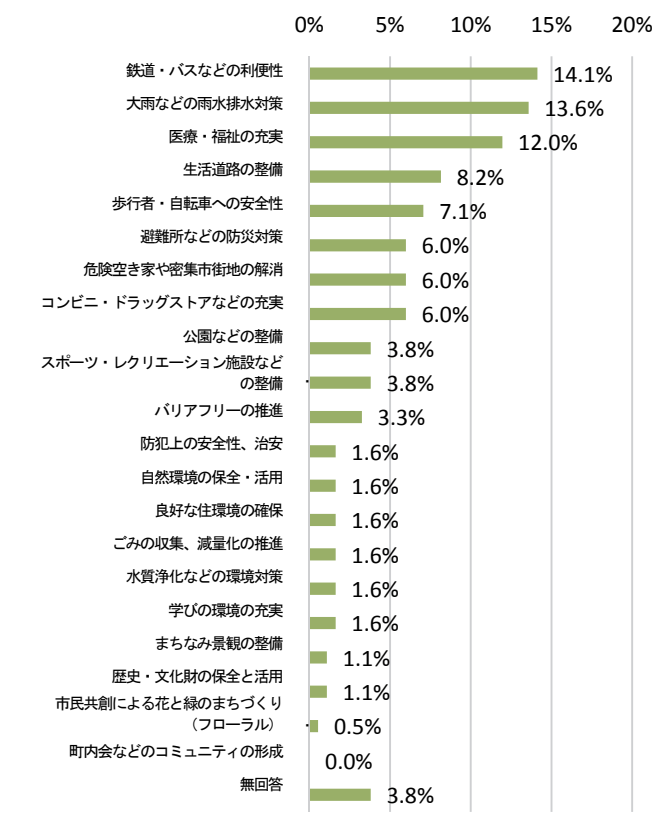


2. 住民意向調査結果（回答者数：68人）

●生活環境の満足度



●さらに住みよくなるために重要なこと



●具体的なまちづくりの方策について

- ◇道路交通網の整備について重要だと思うこと
▶ 身近な生活道路の整備
- ◇公園・広場の整備について重要だと思うこと
▶ 身近な公園や広場の整備
- ◇まちなみ景観について重要だと思うこと
▶ 無電柱化による景観の整備
- ◇防災対策について重要だと思うこと
▶ 避難場所や備蓄倉庫などの充実
- ◇環境対策について重要だと思うこと
▶ 豊かな緑や自然の保全
- ◇市街地の整備について重要だと思うこと
▶ 駅周辺の商業地の魅力向上
- ◇小松駅周辺の整備や取組について重要だと思うこと
▶ 駅周辺のにぎわいづくり
- ◇まちづくりにおける市民の役割について
▶ 自分の住んでいるまちや地域に関心を持つこと

3. 地域のまちづくりの方針

〔まちづくりの目標〕

水と緑に囲まれた豊かな環境の中、健やかさと豊かさを実感できるまち

本地域は、市北端に位置し、南北に国道8号（小松バイパス）や国道305号、東西に（都）小松インター八里線が走っており、本市の北の玄関口の一つとなっている。

また、まとまった農地が広がり、梯川や八丁川、鍋谷川等の河川が地域内を流れており、うるおいのある空間や自然景観が形成されている。

今後こうした良好な農業環境の保全、主要な幹線道路沿道等の景観形成に配慮し、既存住宅地や集落地における生活道路、身近な公園の整備充実により、生活環境の維持・向上を図り、うるおい豊かな環境の中で快適に暮らせる地域づくりを進める。



〔課題と主な整備方針〕

1

広域交通機能の充実と活用

- ・地域に密着する駅として、JR明峰駅と南加賀ターミナル駅（JR小松駅）へのアクセス向上を図る。
- ・JR明峰駅周辺の駐車場整備等による市民の交通利便性を向上する。

2

暮らしや長寿社会への対応

- ・既存集落周辺では開発の緩和により一定割合の宅地化を推進し、コミュニティを維持・活性化する。
- ・主要幹線道路等は、歩行者の通行の安全確保のために、歩道の段差の解消等により、バリアフリー化を推進する。
- ・鉄道やバスの利用を促進するとともに、集落と駅や中心市街地を結ぶ公共交通ネットワークを形成する。

3

こまつの魅力・活力を高める土地利用や都市基盤の整備

- ・国道8号の4車線化や（都）下ノ江高堂線の整備を促進し、円滑な自動車交通等を確保する。
- ・国道305号では、4車線化を推進するとともに、周辺の田園環境との調和を図りつつ、交通アクセスの利点を活かし、沿道サービス施設の立地を適切に誘導する。

4

定住と交流の増大

- ・既存集落地の生活道路の改善等により、居住環境の向上に努める。
- ・主要な地区施設や空き地等を利用し、公園や高齢者等が身近に集える広場・緑地の整備を図る。
- ・梯川ではボート競技コースの整備など、良好な水辺環境、親水空間の創出を図る。

5

自然環境との共生、地域特性を活かした景観の創出

- ・地域内の優良農地の保全と良好な田園集落景観の保全・継承を図る。
- ・污水处理施設等の整備、普及を推進するとともに、戸別訪問、PR活用等での接続向上を促進する。
- ・主要幹線道路沿線は、市のエントランス部にふさわしい沿道景観の形成を図る。

6

災害に強い安全な都市空間の形成

- ・調整池設置による流出低減や増補管の整備による雨水排水機能の向上等、総合治水対策を推進する。
- ・安全な避難場所や避難路の確保、狹隘道路の改善、避難場所等となる施設の耐震化を促進する。

7

多分野へのICT化の促進

- ・ICTを活用したバス運行情報システムの導入等により利便性・快適性を向上し、スマートな交通を実現する。
- ・公衆無線LANサービスの維持、向上により、防災等での情報収集・発信しやすい環境を整備する。

8

オールこまつの「共創」の意識

- ・複数河川の洪水等の災害への備えとして、防災訓練の実施や防災士、しみん救護員などの防災リーダーの育成等、地域の防災力の強化活動を支援する。
- ・地域主体の花壇づくりなどの取組を推進する。

2. 北部地域の整備方針図（犬丸、荒屋、能美）

水と緑に囲まれた豊かな環境の中、
健やかさと豊かさを実感できるまち

既存集落地

- 2 コミュニティ単位で人口が減少している地区では、優良農地との整合に十分配慮し、諸制度の適切な運用により、空き家、空き地の利用促進や一定割合の宅地化を進めることとする。
- 4 生活道路の改善等により居住環境の向上に努める。

J R 明峰駅周辺

- 1 2 駐車場の整備等により、交通結節機能の充実と市民の交通利便性の向上を図る。
- 2 7 バス運行情報システムの導入等によるバスの利便性向上や集落と駅や中心市街地を結ぶ公共交通ネットワークの形成を図る。

梯川・八丁川・鍋谷川

- 3 河川改修に伴い、能美大橋を架け替え南北の連絡を一層強化。
- 4 梯川の河川改修を促進し、水害対策を図るとともに、良好な水辺環境、親水空間の創出を図る。
- 6 八丁川、鍋谷川の河川改修を促進し、水害対策を図るとともに、良好な水辺環境、親水空間の整備を図る。



地域整備の方針

【住居系】	【産業系】
職住近接型住宅ゾーン	商業業務地ゾーン
低層住宅ゾーン	沿道サービスゾーン
既存市街地住宅ゾーン	工業専用ゾーン
居住誘導区域	都市機能誘導区域
市街地近郊宅地化区域	
既存町内区域（地域コミュニティ維持・活性化）	
【農業・自然系】	【その他】
田園（農村集落）ゾーン	医療・健康増進・温泉・観光ゾーン
森林ゾーン	新規土地活用ゾーン
【道路】	【避難場所】
主要幹線道路	避難・救護拠点
幹線道路	指定避難所
その他の道路	機能強化指定避難所
【区分境界】	
地域区分境界	市街化区域界

主要幹線道路と沿道

- 2 主要幹線道路等においては、歩行者等の通行の安全確保を図るため、歩道の段差解消等により、バリアフリー化を推進する。
- 3 国道8号（小松バイパス）、国道305号の4車線化を促進する。
- 3 平面町の国道305号と（都）小松インター八里線の交差点付近は、周辺の田園環境との調和を図りつつ、交通アクセスの利点を活かし、沿道サービス施設の立地の適正化を図る。
- 4 能美市の東西を連絡する道路計画の一部が小松市内を通過することとなり、整備にあたっては円滑な自動車交通と歩行者の安全確保を図る。
- 5 （都）小松インター八里線沿道は、建築物や屋外広告物の規制、誘導などにより周辺の田園環境と調和した良好な景観形成を図りつつ、交通アクセスの利点を活かし沿道サービス施設の立地を適切に誘導する。



※番号は課題に対応